

「解答例」

選抜区分	2020年度（選抜区分：推薦入試） 法学部（科目名：小論文）
<p>問題1（標準的な解答例）</p> <p>一般にポピュリズムには2つの定義があると指摘されるが、筆者は「政治変革を目指す勢力が、既存の権力構造やエリート層（および社会の支配的な価値観）を批判し、『人民』に訴えてその主張の実現を目指す運動」と理解する方が現実を捉える上でより適切であると述べる。</p> <p>この定義によるポピュリズムの特徴は、人民を直接に代表する存在であると自らを正統化しようとする点にある。また既存の政治的諸制度は人民の声を無視しているとして、タブーを恐れず、いわゆる政治エリートを強く批判する傾向にある。加えて、ポピュリズム政党にはカリスマ的リーダーが存在し、既存の政治的な手続きや配慮に縛られず、歯に衣着せぬ発言で「民衆の声」を届けようとする。しかし、イデオロギーの薄さゆえに具体的な政策内容ではなく反エリートの姿勢で特徴づけられ、支配エリートのイデオロギーや価値観が変われば政治的主張も合わせ鏡のように変わる。</p> <p>問題2（出題の意図）</p> <p>別紙</p>	